

国際会議等の誘致

国際会議等（MICE）誘致推進事業

東日本大震災の発生以降、本県は「地震・津波・原発・風評」の4つの被害から立ち上がるために邁進しているところである。今後被害の克服を図り、復旧・復興を遂げていく中で、国際会議等を誘致し開催に結びつけることは、風評の払拭はもちろん、震災以降の福島イメージ回復を図り、更なる県の魅力の発信や観光・商工業・農業等も含めた地域経済の活性化のためにも絶好の機会になると考えられる。

このため、本県では外務省や観光庁などの中央官庁や日本政府観光局（JNTO）、関係機関への働きかけなどを行い、県内での国際会議等誘致に取り組んでいる。

さらに、本県で開催される国際会議等に際しては、風評の払拭及び県の魅力発信を目的に、視察コースの設定や案内、会議会場内における県復興状況等のパネル展示やプレゼンテーションの実施、観光・物産の展示、レセプションにおける県産品の利用などにより、参加者を通じて世界へ正しい情報を発信している。

1 県内における国際会議等開催実績

(単位：件数)

	国際会議 (C)	国際ミーティング (M)	報奨旅行・ 研修旅行等 (I)	展示会・ イベント等 (E)	合計
令和5年度	14	1	23	2	40
令和6年度	15	0	26	1	42

※1 令和7年3月25日現在(国際課調べ)

※2 MICEはMeeting（企業等の会議）、Incentive Travel（企業等の行う報奨・研修旅行、
（インセンティブ旅行））、Convention（国際機関・団体、学会等が行う国際会議）、Exhibition/Event（展示会・見本市、イベント）の頭文字

※3 国際会議件数：日本政府観光局（JNTO）基準を参考に集計

2 令和6年度の主な実績（①開催日 ②主催 ③開催地 ④規模 ⑤県対応）

(1) 第10回福島大学環境放射能研究所成果報告会

- ①令和6年2月 ② 福島大学 環境放射能研究所 ③ 福島市
④ 対面4カ国149名、リモート4カ国112名 ⑤ 対応あり

(2) 第67回春季日本歯周病学会学術集会

- ① 令和6年5月 ② 特定非営利活動法人日本歯周病学会 ③ 郡山市
④ 8カ国1,484名 ⑤ 対応なし

(3) 第31回日本排尿機能学会

- ① 令和6年9月 ② 一般社団法人日本排尿機能学会 ③ 郡山市
④ 対面5カ国1,490名 ⑤ 対応なし

(4) バイオハッカソン

- ①令和6年8月 ② ライフサイエンス統合データベースセンター ③ 福島市
④ 対面14カ国60名 ⑤ 対応なし

(5) F-REI・ICRP国際ワークショップ「福島復興と放射線防護」

- ①令和6年11月 ② 福島国際研究教育機構・国際放射線防護委員会 ③ いわき市
④ 対面13カ国64名（リモート参加国数・人数は不明） ⑤ 対応なし